



メリー・クリスマス



EGGPLANT

エッグプラント
Nファミリー
ホームスクール通信
2006.12.1
No.29



今年もクリスマスの季節がやってきました。私が日本語を教えている韓国人が、日本人の多くは、クリスマスチャンでないのにどうしてクリスマスをお祝いするの?と不思議そうに言っていました。その子はニューヨークから日本に来たのですが、クリスマスが日本では祝日でないということにも驚いていました。二百あまりある世界の国のうち、約一五〇ヶ国でクリスマスが祝日になっています。

祝日にしなくてもクリスマスを楽しんでいる人々は世界中にいます。「クリスマス」を枕詞にしたものをあげると、〜プレゼント、〜ケーキ、〜セールなどなど。確かにいいものばかりで、人が楽しみ、喜ぶことが多いから好きなのでしょう。

「わたしがあなたがたに与える(平安)のは、世が与えるものとは違います。」

(ヨハネ十四章二十七節)

クリスマスの本当の意味は、創造主なる神から人類がプレゼントを受け取ったことをお祝いするものです。それは、この世が提供するも

のとは違い、イエス・キリストが誕生したこと自体が大きなプレゼントだということです。「キリスト」とはギリシア語の「クリーストス(救い主)」からきています。

救い主がこの地上に遣わされるといふのは、旧約聖書の大きなテーマでした。イエスが来られる四百年ほど前には旧約聖書は完成しました。そして、「約束」どおり救い主が来られたということ記録したのが新約聖書です。「約束」とは、旧約聖書の中に救い主の特徴が「預言」という形で記されているということです。いつ、どのように生まれるか、どのような人格で、何をなさるか、どのような生涯を歩むかなど、三百五十箇所にもわたり記されています。その代表的な預言がどこで生まれるかというもので、旧約聖書ミカ書の次の箇所です。

「ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのためにイスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。」

(ミカ書五章二節)

これらの預言が今から二千年前にイスラエルでイエスの上に成就しました。偉大な業績を残したゆえに、その人の誕生日が祝われるのはよくあることですが、イエスの場合は「この世界に來られた」こと自体が大きな出来事だったので。

クリスマスにちなむものはたくさんあります。クリスマスツリーもそうですが、その飾りに「キャンディケイン」というのがあります。(上の図等)元来は、杖の形をしたキャンディで、十八世紀ころドイツで白いものがクリスマスに食べられていたそうです。それを二十世紀初めにアメリカのインディアナ州のキャンディ業者がイエス・キリストをイメージして現在のような形にしたそうです。

この杖は羊飼いの杖をあらわします。「わたしは良い羊飼い」と言われたイエスのことばにちなんでいます。杖の形を逆さまにすると、「J」になり、英語でイエス「Jesus」の最初の字を表します。白はイエスのきよさを、赤い線は十字架にかけられて流された血を、ペパーミントの味は旧約聖書に時代に「きよめ」の儀式に使った「ヒソブ」という植物を思い起こさせます。固いものなので、食べる時には折りますが、これはイエスが十字架の上で私たちの身代わり死んでくださったことにより命を与えたことを指しています。単なるキャンディや飾りにしか見えないものでしたが、考案した人の思いが込められているなあと感じしました。

こんなことしました！ 行事報告

十一月

三日 関西合同学び会

十三日 USJ遠足

二十一日 JCホームチャータスクール訪問

二十三日二十五日 チャ・につぼん白馬セミナー

二十九日 布施集会の映画撮影

三十日 わらじ職人さん宅への見学

Rのごくしょコーナー

小さなリース

さかもとふあみ著

むかしむかしある国にとってもおそろしいしようぐんがいました。その人の名前はカロールしようぐんという人でした。カロールしようぐんは自分の気に入くわな人をさがしてろうやへなげこんでしまつのです。

ある日のこと、カロールしようぐんの家門に小さな花のリースがありました。ところがつぎの日もまたつぎの日もリースがありました。なぜでしょう。

おそろしいカロールしようぐんはさいごどうなるのでしょうか。このものがたりはルーマニアで本当にあったことをもとにして書かれたお話です。どうぞこの本を読んでください！



わらじ職人さんのみごとなわぎ



白馬セミナー



二〇〇六年 白馬セミナー

E

ぼくはホームスクールのセミナーに行きました。今年は八三〇名参加し、だんだんホームスクーラーも増えてきているそうです。とてもびっくりです。

夜には星を見に行きました。友達は流れ星を何個も見つけていました。でもぼくは一つも見つけられませんでした。星はとてもきれいでした。白馬の夜と大阪はまったく明るさが違います。

チルミニ運動会ではコニシキパンツリレーやおかきを取るゲームなどもしました。ぼくのチームは二位になりました。

分科会で家族で報告をするため、練習を何回もしてきました。

練習より本番の方がいいとお母さんが言ってくれました。成功してよかったです。暗唱聖句では少しまちがいましたができました。

白馬セミナーは、全国のホームスクーラーと友達になれるのでいいです。二泊三日では足りないので一週間ぐらいやってほしいです。

読書の楽しさ

N

私はこのごろ読書にはまっています。今は、三浦綾子さんが書いた「氷点」や、お兄ちゃんから紹介してもらった「怪盗紳士ルパン」シリーズを読んでいきます。

わくわくするお話や感動のお話や知らなかったことを知ることができ、私は読書が大好きです。その中でも感動する本が好きです。私が感動した本はいっぱいあります。「虹色の約束」、「ああ無情」、「アングル・トムの小屋」、「ハッピー・バースデー」などです。

お兄ちゃんが歩きながらでも本を読んでいるように私も食事の時間を忘れて本に夢中になっている時もあります。

私は読書ノートを作り、読んだ本の著者や出版社や感想などをまとめて書いています。今ではだいぶいっぱいになりました。図書館にいつて本を見つけた時はお祈りをしてから行くことが大切であることを白馬セミナーで教えてもらいました。これからも本をたくさん読んでいきたいです。でも本の中の本は聖書です。

編集後記

行事報告のところは少なかったです、なかなか忙しい十一月でした。セミナーでの発表や他の教会で作る自主映画出演のための練習など事前準備が必要なものがありません。

